

平成25年度事業計画

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

平成25年度(第26年度)は、定款の定めるところにより、下記の事業を行う。

1. 調査研究事業(公益目的事業1)

(1) 25周年記念調査研究

当年度は、研究所設立25周年の節目を迎えることから、下記のテーマを中心に調査研究を行い、提言としてまとめていく。

① 「政治改革」

社会構造の変化や国際情勢の流動化に対応するため、日本の政治システムはより迅速な合意形成を迫られており、意思決定システムや民意吸収・形成システム等の在り方について検討を行う。

② 「平成50年の日本 ― 課題と戦略 ― 」

国際情勢等いくつかのシナリオを踏まえ、25年後の日本の将来像とそれに向けて解決しておくべき日本の課題について、外交安全保障、経済等多角的観点から検討を行う。

(2) 25周年記念シンポジウム

上記の調査研究・提言を念頭に置いて、有識者を招いてシンポジウムを開催する。

(3) 研究会等の開催

内外の有識者を招いてコロキウム、研究会等を実施する。

(4) 図書、雑誌等の刊行

① 当研究所の研究成果について「IIPS Quarterly」の形にまとめ、関係各方面に年4回配布するほか、ホームページに掲載するとともに、英語による発信を強化する。

② 当研究所の英文論文雑誌「Asia-Pacific Review」を年2回発行し、関係諸機関に配布するとともに、英国の出版社を經由して全世界へ販売を拡大する。

(5) 研修事業

陸上自衛隊幹部学校幹部高級課程学生に対し、当研究所の役員、主任研究員、研究顧問等による研修を実施する。

2. 国際交流事業（公益目的事業2）

(1) 「日米韓トラック1.5」国際会議

当研究所は、米国平和研究所（USIP）および韓国外交安保研究院（IFANS）と共催で、2008年より、議会関係者および政府間の協調体制の構築と具体的な協調政策案の創出を目的として、北東アジア三カ国対話：「日米韓トラック1.5」会議を実施しており、本年度はワシントンにおいて第8回会合を実施する予定である。

(2) 「東京-ソウル・フォーラム」国際会議

当研究所は、2010年より、韓国「ソウル国際問題フォーラム」との共催で、東京とソウルで毎年交互に日韓の意思疎通のための戦略対話を実施しており、本年度はソウルにおいて第4回「東京-ソウル・フォーラム」を開催する予定である。

(3) 「日中フォーラム」国際会議

当研究所は、2007年より、中国人民外交学会との共催で、「日中フォーラム」を実施しており、本年度は北京において開催する予定である。

(4) 「日台対話」国際会議

当研究所は、2002年より台湾側と対話交流を実施しており、本年度は台湾の两岸交流遠景基金会（台北）との共催で、東京において「日台対話」を開催する予定である。

(5) 「日独フォーラム」

当研究所は、2011年より、ドイツのアデナウアー財団、ベルリン日独センターとの共催で、「日独フォーラム」を実施しており、本年度は東京において開催する予定である。

(6) 「日米中ハイレベルトラック1.5」国際会議

当研究所は、2011年より、米国平和研究所（USIP）、中国現代国際関係研究院（CICIR）と共催で、日米中三ヶ国間における政治・経済・安全保障の分野の学識経験者のみならず、政府の外務・防衛関係省庁の局長・審議官級担当者

が個人の資格で参加し、これらの諸課題についての意思疎通をはかる重要な場として会議を開催しており、本年度は北京で第3回会合を開催する予定である。

(7) 平和研講演会

当研究所の研究テーマと関連する事柄を中心として、駐日大使及び内外の有識者等を講師とする講演会を開催する。

3. 中曽根康弘賞表彰事業（公益目的事業3）

第9回中曽根康弘賞の授賞を行うとともに、夏以降第10回目の募集を始める。